

特別支援教育の充実に向けて

北海道教育委員会教育長 倉本博史

学校管理職の皆様には、各地域や学校において、日頃から特別な教育的支援を必要とする子どもを含む全ての子どもたちの教育に、熱意と情熱をもって御尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、本ハンドブックは、山積する様々な教育課題への対応を行う中、これまでの特別支援教育の経験の有無に関係なく、全ての学校管理職が自信をもって自校の特別支援教育を推進することをコンセプトに作成したものです。具体的には、必要な時に必要な箇所を読むことができ、かつ折に触れて読み返し、年間の学校経営の工夫・改善に資することを目的にしています。

その背景の一つに、本年3月に出された「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議報告」があります。同報告では、全ての教員が、どの学級にも特別な教育的支援を必要としている児童生徒がいる可能性があることを前提に、全ての児童生徒に対し、高い学習効果が得られるよう分かりやすい授業づくりを進め、通常の学級において安全・安心に学ぶことができるよう、多様性を尊重した学級経営や集団における授業の工夫、合理的配慮の提供を行うことの重要性が示されています。

その実現に向け、学校管理職の皆様には、特別支援教育を学校運営の柱の一つとして捉え、リーダーシップを発揮して、通常の学級担任等を支えることができる校内支援体制を構築することなどが求められています。

北海道教育委員会では、令和9年度までを計画期間とした「特別支援教育に関する基本方針」に掲げた施策を確実に推進することができるよう、有識者を構成員とした会議において、管理職を含めた全ての教職員の専門性向上に向けた取組等について検討・実施しているところであり、本ハンドブックもその一環として作成したところです。

学校管理職の皆様には、「令和の日本型学校教育」を担う教師に求められる資質能力の一つに「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」が位置付けられたことを踏まえ、特別支援教育を一部の教職員が担当する「特別」な教育と捉えるのではなく、全ての教職員が携わり推進すべきとの認識の下、校内体制を整備する際の参考として、本ハンドブックを活用し、一人一人の可能性を引き出す教育を一層推進されますことを期待申し上げます。

結びに、本ハンドブックを作成するに当たり、御協力いただきました北海道特別支援教育振興協議会並びにアドバイザーの皆様にお礼申し上げます、御挨拶といたします。